



AV通信

芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生徒学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページ AV通信
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメール AV通信
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならぬ」

～平和の祈りと願い～ を込めて、 「平和の鐘」を鳴らす！！

60回目の終戦記念日の8月15日、山中芦屋市市長を始め、会員を中心とした市民約60名が市民センターの前庭の「友愛の鐘」の前に集まり、ユネスコの平和宣言を一同で声高らかに読み上げ、正午のサイレンと共に黙祷の後、一人ずつ鐘について平和を祈りました。

その後、市民センター内で、戦時の苦しかった被災や疎開の体験などを語り合い、平和の取り組みの大しさを確認しました。

「平和の鐘」は国連が定めた「平和の文化国際年」の2000年を機に、日本ユネスコ協会連盟が呼びかけ、全国の協会、地域組織などが鐘を鳴らしている運動です。芦屋ユネスコ協会でも毎年、市民センター前に集まり、鐘を鳴らしています

芦屋ユネスコ協会のこの行事は、その日の夕刻にNHKのテレビニュースで放映され、翌朝の毎日新聞(下左写真)と朝日新聞(下右写真)にも大きく掲載されました。

この行事に皆様方大変ご協力を頂き有難うございました。御礼申し上げます。

<毎日新聞>

2005年(平成17年)8月16日(火曜日)

地城のニュース

各市で「平和の鐘」

芦屋市民センターでは体験語る

芦屋市では、8月15日午後、芦屋市民センター前にて「平和の鐘」を鳴らす。市民約60人が集まり、ユネスコの平和宣言を読み上げた。正午にはサイレンと共に黙祷を行った。この行事は、国連が定めた「平和の文化国際年」の2000年を機に、日本ユネスコ協会連盟が呼びかけたものだ。芦屋市では毎年、この行事を行っている。

<朝日新聞>

2005年(平成17年)8月16日(火曜日)

芦屋に響け平和の鐘

芦屋市では、8月15日午後、芦屋市民センター前にて「平和の鐘」を鳴らす。市民約60人が集まり、ユネスコの平和宣言を読み上げた。正午にはサイレンと共に黙祷を行った。この行事は、国連が定めた「平和の文化国際年」の2000年を機に、日本ユネスコ協会連盟が呼びかけたものだ。芦屋市では毎年、この行事を行っている。

2005年度近畿ブロックユネスコ活動研究会報告

2005年度近畿ブロックユネスコ活動研究会が10月2日(日)に和歌山県粉河ふるさとセンターで開催された。長浜、京都、舞鶴、福知山、大阪、大阪エリーニ、奈良、天理、斑鳩、吉野、芦屋、尼崎、伊丹、川西、神戸、三田、宝塚、西宮、姫路、三木、和歌山、橋本、紀南、貴志川、那賀・清洲、紀北の近畿各ユ協から約200名の参加を得て、今年も盛大に開催された。主管の紀北ユネスコ協会のご尽力で、盛り沢山の内容で意義ある集いとなった。

研究会は和歌山ユ協の総合学習とユネスコ活動のD-PROJECT報告や日本ユネスコ協会連盟の活動プレゼンテーションから始まり、メインの市民公開講座では、地元市民を交え、「郷土の文化遺産を伝承し、ユネスコ世界遺産を学ぼう！」をテーマに、コーラス、「医聖華岡青洲ものがたり」の紙芝居、ビデオ「世界遺産、紀伊山地の靈場と参詣道」に続いて、地元出身の人気作家の神坂次郎氏により「ユネスコ世界遺産高野熊野から」というテーマの、世界遺産となった熊野参詣道の興味ある歴史や言い伝えなどの話で会を締めくくった。

今回も、ユネスコ活動に対する共通の理解を大いに深めることができたし、継承（伝え方）の大切さというものをしっかりと参加者全員で学ばせて貰えた研究会であった。

芦屋ユネスコ協会からは、西田副会長、池西理事、山田事務局長が参加した。
尚、来年度の近畿ブロックユネスコ活動研究会は平成18年10月28日(土)に滋賀県長浜市で開催される。
(事務局長：山田利郎)

感謝

寄付金拝受の御礼

☆N・G・Fプロインストラクターズ協会様 30万円(10月13日)
☆平山智舒様 5万円(6月24日)

芦屋ユネスコ協会活動にご理解を頂き過分なご寄付を賜り、心から感謝申し上げます。

このご寄付は、日本ユネスコ協会連盟(本部)を通じまして、世界寺子屋運動（非識字者の為の学校建設）及び世界遺産保護の為のユネスコ運動資金として、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

書き損じ葉書ご提供のお願い



家の中に残されている未使用的古い葉書（書き損じ葉書）がありましたら、是非ご提供下さい。集められた葉書はお金に換えられ、世界寺子屋運動（非識字者の為の学校建設や子供達の学用品調達など）の資金になります。

世界には文字を読めない人、計算が困難な人がこんなにも沢山います。

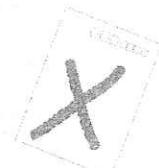
・世界の非識字者数（15歳以上の成人）：約7億9,900万人

・学校に通えない児童数：約1億400万人

書き損じ葉書1枚で45円の募金になります。

・ネパールでは鉛筆が7本買え、アフガニスタンでは176枚で1人が1年間学ぶことが出来ます。あなたの葉書で沢山の人の夢を叶えることが出来るのです。

あなたの優しさで世界が変わります。1枚でも多く書き損じ葉書を集めたいのです。ご協力お願ひいたします。



～あなたのハガキで幸せになれる～

世界遺産セミナー開催のお知らせ

今年も例年通り、世界遺産セミナーを開催いたしますが、昨年まではACA(芦屋市国際交流協会)との共催だったものが、今年からは芦屋ユネスコ協会の主催で実施することとなりましたので、会員の皆様のますますのご協力をよろしくお願ひいたします。

テーマ：「トルコの世界遺産と生活様式」

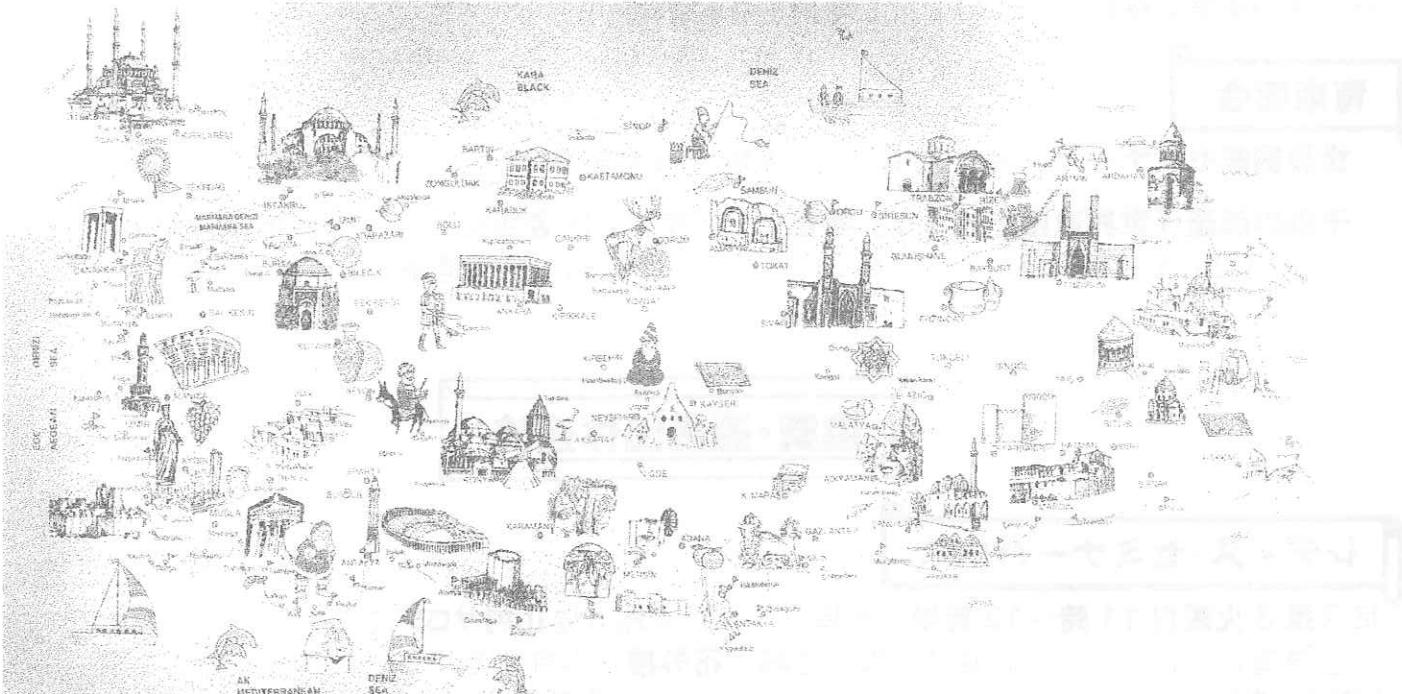
日 時：2005年11月2日(水) 18:30～

場 所：芦屋市国際交流協会 会講室

講師：Mr. Gazi Kocak(カジ・ヨカック)氏

イスタンブール工科大学から芦屋海技大学校への留学生

通訳：由里正雄氏（芦屋ユネスコ協会副会長・育成部会部会長）



今回は、参加費無料ですので、どうぞお気軽にご参加下さい。

また、会員・非会員の区別無く参加可能ですので、ご家族・ご友人にもお声掛け頂き、是非ご一緒にご参加いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

2005年度 茅屋江ネスコ協会

「年末講演会＆親睦会」のご案内



今年もまた年末が近づき、芦屋ユネスコ協会恒例の「年末講演会＆親睦会」を実施いたしますので、会員・非会員を問わずお誘い合わせの上ご参加下さいませ。当日は講演会に加え、親睦食事会、ビンゴゲーム、エンターテインメントと盛沢山で、充分にご満足いただける内容となっています。

詳細は同封のご案内用紙をご覧頂き、各自お申込み下さい。

当日は指定席となりますので、同テーブル希望の場合は、一枚の用紙に連名でお申込み下さい。但し、人数の都合でご希望に添えない場合もあることをご了承下さい。また、当日キャンセルは会費を徴収いたします。

部会報告とお知らせ



交流部会

<世界文化遺産見学バスツアー開催予告>

例年どおり 2006 年 4 月には、**京都方面へのバスツアー**を計画しております。

多数の参加をお待ちしております。

その他「会員から専門の話を聞く会」(仮称)などの企画もしておりますので、ご期待ください。

事業部会

<書き損じ葉書の回収運動>

2 頁の記事をご参照に書き損じ葉書、または家の中に残っている未使用の**古い葉書**などがありましたら、いつでもご提供下さい。お待ちしております。小学校でも回収しています。

その他の事業も検討中ですので、ご期待下さい。

育成部会

<世界遺産セミナー>を協会主催として実施。(3 頁記事参照)

<子供の部屋「世界遺産を知ろう」学習>を芦屋市立図書館友の会との共催で開催いたします。

11 月 26 日 10 時より芦屋図書館 2 階において、今回は世界遺産の日本編ですので、楽しみにお出掛け下さい。

協調・連携団体連絡

レディス・セミナーハウス

毎月第 3 火曜日 11 時~13 時半、芦屋ラポルテ本館 3 階山村サロンにて、レディス・セミナーハウスを開催しております。昼食は大阪の老舗「花外樓」の特別美味しいお弁当が戴けます。

ビジター参加が可能ですのでご希望の方はセミナーの**5日前**までに下記へご連絡下さい。

(参加費: 1 回 10,000 円、昼食代を含みます、男女を問いません)

入会ご希望の方もお気軽にお問い合わせください。(三宮 Tel : 22-3729 Fax : 22-9298)

事務局連絡

<会員現況> 10 月 15 日現在

特別会員 15 名

維持会員 31 名

普通会員 97 名(5)

学生会員 2 名

団体会員 1 団体

()内は今期新入会員数

合計現在会員数 145 名(5) + 1 団体

<ホームページ紹介> アドレスは 1 頁に記載

☆毎回、AU通信発行後に更新していますので、どうぞご覧下さい。

<編集員募集>

☆パソコンで文字が打てる・ユネスコに関わる原稿作成・取材原稿作成・記事に関するアイデアを出してくださる方などなど、お手伝いしてくださる方を募集しています。ご連絡下さい!

編集後記: 朝晩冷え込み、秋を実感しています。今年もあとわずか…今年は何が出来ただろうか…今何が出来るのか、これから何が出来るのか…物思いにふけってしまう秋の夜長です。(Y・E)